

第18巻 編集後記

この度、『言語文化教育研究』第18巻を無事お届けすることができました。本巻での議論を読者の皆様の研究や教育実践の糧としていただけましたら幸いです。

学会は7年目を迎え、会員数も460名(2020年11月27日現在)となりました。本巻には25本の投稿があり、うち10本が採択となりました。論考のテーマは多岐にわたり、言語文化教育研究の射程の広さと可能性を物語っています。

本巻の特集は「言語文化教育とクリエイティビティ (Creativity)」です。私たちは言語によって概念世界を日々更新し、新たな世界を構築していると言えます。言語とは、もとより創造的なものですが、特集では、言語文化教育を拡張すべく、様々な観点から言語文化教育とクリエイティビティに関わる議論がなされています。なお、特集は第6回年次大会のシンポジウムの内容をもとに編まれる予定でしたが、年次大会はコロナウイルス感染症の拡大の影響で中止となり、その後開催されたオンライン集会(2020年8月22日)における議論をもとに執筆されています。

このような事態が示すように、2020年は私たちにとって忘れえぬ年となりました。前年に発生したウイルスは瞬く間に世界を侵食し、私たちの生活を一変させました。仕事や学習など多くの場において、物理的にも精神的にも閉塞感と苦痛を強いられるようになりました。現在も一進一退を繰り返し、未だ光明が見えない状況ですが、この暗闇の先にこれまでとは異なる風景が広がっていることは明らかなようです。

どのような風景が広がるにせよ、本巻のテーマでもある「創造力」をもって新たな世界を築いていければと思います。そのような世界の創造に言語文化教育研究がどのように貢献していけるのか、皆様と熟考しつつ確実な一步を踏みしめてまいりたいと考えます。

学会誌編集委員会 委員長 寅丸真澄

学会誌編集委員会

有田佳代子	飯野令子	市嶋典子	小口悠紀子	北出慶子
後藤賢次郎	佐藤慎司 (特集担当)		嶋ちはる	嶋津百代 (特集担当)
牲川波都季 (特集担当)		田嶋美砂子	寅丸真澄 (委員長)	
中川康弘	中山亜紀子	飛田勘文 (特集担当)		福島青史
細川英雄	南浦涼介 (副委員長)		三輪聖	山元淑乃
米本和弘	ロマン・パシュカ		澤邊裕子	

査読協力者 (本巻担当)

池上摩希子	犬飼康弘	宇佐美洋	牛窪隆太	内山喜代成
宇都宮裕章	尾辻恵美	神吉宇一	木村かおり	瀬尾匡輝
瀬尾悠希子	古賀和恵	近藤有美	佐藤貴仁	佐藤正則
佐野香織	塩谷奈緒子	武一美	竹口智之	田中祐輔
田中里奈	徳永あかね	中井好男	仲潔	中川正臣
中川祐治	中村香苗	中山英治	本田弘之	三代純平
八木真奈美	柳田直美	柳瀬陽介	家根橋伸子	山川智子
山本冴里	義永美央子			(敬称略)

言語文化教育研究 第18巻

発行日 2020年12月28日

編集・発行 言語文化教育研究会

事務局：〒187-8505 東京都小平市小川町1-736 武蔵野美術大学

鷹の台キャンパス三代純平研究室内

E-Mail: contact@alce.jp

DTP: ケイ商店

ISSN:2188-9600

Copyright © 2020 by Association for Language and Cultural Education